

KYOTAMBA TOWN

京丹波

議会だより

第42号

[平成 27 年 2 月 17 日]

発行 京都府京丹波町議会



12月定例会

- 2P 補正予算、条例改正など
- 4P ここが聞きたい 一般質問に10人
- 14P 管外視察報告
- 15P 追跡調査 あれからどないなっとるんや～?
- 16P 人(ひと) 北村 ^{あゆむ} 歩さん (実勢区)

須知幼稚園収穫祭

議会ホームページアクセス件数
983,429件(H27.2.1現在)前号より1,792件増



京丹波町

道の駅「京丹波 味夢の里」整備工事8802万円追加 不等沈下対策・物価スライドによる契約変更

26年第4回定例会は、12月4日から22日までの期間で開催されました。本定例会には、人事案件、条例の改正、一般会計・特別会計補正予算など25件が提出され、全議案を同意・可決しました。

一般質問には10人が立ち、33項目について執行部の所見をたいただきました。なお、本定例会には、21人の方が傍聴されました。

一般会計補正予算

12月14日執行の衆議院議員選挙に係る補正及び26年度事業の確定、進捗状況などにより、事業費を見込むとともに、新たな財政需要を勘案し編成された。

主な質疑

問 ゾーン30の整備計画の周知徹底は。

課長 生活道路の歩行者の安全確保のため、青色ラインを引き、表示する。

問 企業立地対策事業費の内訳は。

課長 瑞穂農林への施設整備工事費と雇用促進奨励金、固定資産税の助成奨励金である。

〔全員賛成〕

特別会計補正予算

病院会計ほか6会計の補正。〔全員賛成〕

条例の改正

町職員の給与条例の一部改正

人事院勧告に準じ給与を引き上げるもの。

〔全員賛成〕

問 正職員以外の嘱託・臨時職員の賃金直しの考えは。

町長 嘱託・臨時職員へ連動することを期待しての提案である。

町長・副町長・教育長の給与条例の一部改正

一般職の給与改定に準じ改正するもの。

〔賛成11 反対4〕

問 特別職報酬等審議会の開催は必要ないと

の判断か。

課長 額そのものの変更に更でなく、附則準用による一時的な支給であるため、未開催である。

〔反対討論〕 山田 均議員

住民の経済状況などからも特別職報酬等審議会の意見を聞くべきである。暮らしの実態からも反対。

議会議員の報酬条例の一部改正

一般職の給与改定に準じ改正するもの。

〔賛成10 反対2 退席3〕

問 議員報酬の額も含め、今までに特別職報酬等審議会が開催・審議されたことはあるのか。

課長 合併協議以降、直近にも開催されていない。

国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額について、改正を行うもの。

〔全員賛成〕

戸別浄化槽の設置及び管理条例の一部改正

浄化槽市町村整備推進事業の廃止に伴い、所要の改正を行うもの。

〔全員賛成〕

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

児童扶養手当法の一部改正に伴い、改正を行うもの。

〔全員賛成〕

土地の取得

丹波地域開発発(株)の経営支援を行う目的として、合計1万4292㎡を2億8171万円で購入するもの。

〔賛成8 反対7〕

問 第3セクターの監査も求められる立場・職責にありながら、町の監査委員が監査役を

兼務するのはおかしいのではないか。

監査委員 法律に抵触するようなことはなく、辞任の意思はない。

問 更地の鑑定評価であれば、税金投入が担保されていないのでは。

課長 更地の評価であるが、更地でも底地でも不動産価値にかわりはない。

〔反対討論〕 東 まさ子議員

合意が得られていない税金投入の具体策・土地購入と、購入残額約3億円は単なる損失補てんであり反対。

〔賛成討論〕 鈴木 利明議員

丹波地域開発発(株)の支援策は9月議会で可決。同社が所有する土地4筆を町が取得するものであり賛成する。

〔反対討論〕 山田 均議員

国の指針からも土地購入は認められない。町長の独断専行で、住民の合意も納得も得られておらず反対。

賛成討論 岩田 恵一 議員

旧丹波町が主導し、民意を反映させた議会の同意を得た施設であり、町がその責務の中で取得するのは当然だ。

反対討論 篠塚信太郎 議員

丹波地域開発(株)への経営支援の手法としては、町から無利子で貸し付けするか資本金の増資に変更を求める。

賛成討論 山内 武夫 議員

丹波地域開発の経営陣が刷新され、新体制のもとで経営改善計画を早急に策定し、サービスの向上に期待する。

反対討論 村山 良夫 議員

不動産は土地建物一体で購入するのが原則。底地だけの購入では、血税の投入が担保されていない。



不等沈下対策が施工された道の駅「京丹波 味夢の里」

工事契約変更

地域振興拠点施設整備事業 道の駅「京丹波 味夢の里」契約変更

物価上昇及び工事内容の変更に伴う請負代金額の増額により、契約金額に8802万円を追加し、8億7237万円とするもの。
〔賛成10 反対5〕

問 20mの盛土で地盤沈下は想定内であったのであれば、なぜ入札金額条件に含まれていなかったのか。

課長 不等沈下が発生した時点で別途、薬液注入工法による沈下対策の工事変更をするため。

問 再度、沈下した場合、いったん薬液注入したさや管は再度の薬液注入ができるのか。
課長 使用後、洗浄し、再度利用できる。

反対討論 坂本美智代 議員
盛土による不等沈下は、想定されたことで

あり、当初の工事請負契約金額に含まれるべきであることから反対。

賛成討論 山内 武夫 議員

物価上昇による請負金額の変更に、当初から想定した建物基礎の不等沈下対策に伴う変更であり、やむを得ない。

反対討論 山田 均 議員

DBO方式の導入は費用の軽減ができることであった。こんな業者には有利で便宜を図る契約変更には反対。

賛成討論 梅原 好範 議員

変更内容は当初予算の想定内であり、必要と認める。事業の目標達成に向け、細やかな報告を求めて賛成する。

賛成討論 松村 篤郎 議員

本事業全体が順調に推移するのが重要であり、丹波PAと一体的な施設の工期内完成を願って賛成する。

グリーンランドみずほ ホッケー場改修工事の契約変更

工事内容の変更に伴

う請負代金額の増額により、契約金額に1374万円を追加し、1億8468万円とするもの。
〔全員賛成〕

土地改良事業の施行

台風11号及び8月前線豪雨により被災した農地・農業用施設のうち、7件の災害復旧工事について、町営土地改良事業として施行するもの。
〔全員賛成〕

人事 (敬称略)

教育委員会委員

竹吉 美公 (下山) 新任

固定資産評価審査委員会委員

岡花 芳樹 (質志) 新任

人権擁護委員候補者

西田 光子 (下大久保) 再任

友金 一郎 (大朴) 再任

山崎 要志 (中台) 再任

各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

審議結果	議員名	森田 幸子	松村 篤郎	原田 寿賀美	梅原 好範	山下 靖夫	坂本 美智代	岩田 恵一	北尾 潤	鈴木 利明	篠塚 信太郎	東 まさ子	山崎 裕二	村山 良夫	山内 均	山内 武夫	野口 久之 (議長)
可	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	—
可	教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	—
可	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	退	×	×	×	○	—
可	土地の取得	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	—
可	地域振興拠点施設整備事業 設計建設工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	—

議長は採決には加わらない。○は賛成、×は反対、退は退席



一般質問 **ここが聞きたい**

由良川にかかる 2長大橋の早期修繕を



梅原 好範 議員

町長 丸山橋を27年度、上升谷橋は28年度に事業実施する

問 和知地域の広瀬区と出野区間をつなぐ「丸山橋」は、昭和44年の竣工以来老朽化が進行していることから、地域では修繕を求める要望が繰り返されているが、具体的な実施計画は示されていない。老朽化対策に加え、この橋は災害時における住民避難路として想定されており、毎年のように発生する由良川の越流時には、旧国道27号による避難が不可能となることから、重要な避難路を確保するためにも、早期に修繕事業を実施することを求めるが、町長の見解を伺う。

町長 指摘の災害時における避難経路としての位置づけは、大変重要なものと捉えている。調査では欄干などの補修のみでなく、構造部の補強が必要なことから、一体的な修繕工事を27年度に実施する。

問 同じく、升谷区には昭和42年に懸架された「上升谷橋」が存在する。この橋についても、区内を結ぶ欠かせない生活道路として毎日使用されているが、欄干や橋脚の腐食と破損に加え、床盤など経年劣化は著しい状態にある。升谷区では、同橋の自由な往来をなくして行政区運営は考えられないことから、心配される住民のみならず切実な要望が届けられている。

地域のみならず安心して暮らし続けられるよう、早期に修繕計画を策定し、地域に示すことが安心感の創出につながるかと考えるが、「区内の円滑な疎通を守りたい」との訴えにどのように応えるのか。

町長 同橋は集落内を連絡する、重要な生活道路であるとの認識をしている。

問 京都府により設置されている「モニタリングポストの有効利用」

その機能に支障をきたすことがないよう、27年度に設計業務を実施し、28年度には上部工と下部構造部を含む、一体的な修繕工事に着手する。

たすことがないよう、27年度に設計業務を実施し、28年度には上部工と下部構造部を含む、一体的な修繕工事に着手する。



劣化が著しい上升谷橋(升谷地内)

する教育現場への活用、さらに有事を想定し補助電源の確保を求めるが、有効利用に向けた町長の見解は。

町長 住民の理解や原動力教育に役立てるよう、施設の目的や表示内容を説明する表示板の設置を府に要望する。また、補助電源の確保については、今年度蓄電池・太陽光パネル発電設備が府により整備される。



山崎 裕二 議員

視覚障害者向け CATV 文字・音声の同時放送化を

町長 27年4月から稼働することを目指す



視覚障害者と指導者の研修会(竹野小学校)

問 2つの自主放映番組が統合再編されたが、

町長 多くの情報を届けられるように番組内容を充実していく。

問 ユーチューブの京丹波公式チャンネルの今後の配信拡充は。

町長 町外へのPR映像を基本に取り扱っていく。

問 自主放映番組中に、間に町内業者などの有料CM放映枠を。

町長 制作にかかる人員、コストなどの問題

があり、現時点では考えていない。

役場ホームページの充実を

問 「町長のひとこと」の発信を頻繁に。

町長 わかりやすく、また、継続して情報発信できるように、今後、取り組んでいく。

問 旧八木町役場ホームページに、町民の方が自由に意見交換し合える電子会議室があったと聞く。設置検討を。

が自由

町長 直接、出会って対話することが大切と

考えており、現在のところ設置の考えはない。

問 商工会や観光協会などと連携し、町内ショップのネットモール

(電子商店街) ページ開設を。

町長 ネット販売は有効な手段であると考えており、検討する。

防災・減災情報のSNSによる発信を

問 各種SNS運用による防災・減災情報の迅速、専門的な発信を。

町長 その利用効果などを検証していく。

獣害対策の効果的実施を

問 農林振興課作成の獣害対策ビラの効果を上げるため、継続的な手立てはしているのか。

町長 南丹地域野生鳥獣被害対策チームが、被害の多い5地区に入り、地元住民の問題意

識を高め、地域ぐるみの防除対策につなげる

取り組みを行っている。**問** ALSOKによる有害鳥獣捕獲わなの監視装置などを導入し、

効果の検証を行っては。

町長 現段階では実証予定はないが、捕獲確認の有効手段のひとつとして、今後、情報収集していく。

総合的判断の説明責任は

問 町長の総合的判断によって、公金を横領した元職員に退職金支給の権利が発生した。

町民のみなさんの感情を汲み、伝えることは。

町長 もし告発があり、退職金が支払われないということになれば、それはそれでひとつの結果だと思う。町民のみなさんの信頼をしっかりと回復するために、職員の意識改革や倫理の徹底に努めていく。



諸会計に 複式簿記の導入を



村山 良夫 議員

町長 導入については総合的に考える

平成25年3月31日現在 (単位:円)

員益勘定留保資金積算書

増加額 B	4条支出額 (補填額) C	当年度増減額 D=B-C	当年度未留保額 E=A+D	流動資産 ①	流動負債 ②	差引資金 ③=①-②
1,985	58,182,586	41,980,601	449,674,178	597,198,368	38,696,215	558,502,153
51,860	16,262,375	39,668,351	452,422,318			
645,741	0	0	0			

口頭で訂正された病院事業会計決算資料

問 町立病院事業会計24年度決算書の補正資料に間違いは。

町長 留保資金積算書に間違いがあり、訂正したとおりである。

問 補正資料は、議会審議に重要である。

審議後の訂正が口頭 のみの訂正でよいのか。

町長 資料はいちいち確認していないが、決算書が正しければよい。

問 23年度決算では、留保資金が現金を上回

っている。他に流用されたのでないか。

課長 不足分は未収金に入っている。

問 留保資金による補填は、議会へ報告をしているが、今回はその必要がないのか。

課長 一時的に未払金に充当したもの。2カ月後に未収金の受け入れで解消している。

問 国は新会計制度の導入を推進している。他の会計も複式簿記を

導入する考えはないか。

町長 本町も複式簿記で決算すれば、財務内容は黒字になる。今後の導入については総合的に考える。

丹波地域開発(株)への
取り組みは

問 改選された新役員は、丹波地域開発(株)の諸問題を熟知されているのか。

副町長 詳細は熟知していない。今後理解し勉強する。

問 「底地」のみの購入で、購入価格は担保されているのか。

町長 鑑定士の鑑定価格である。

問 土地売却により、6億5千万円の売却損が生じるがその対応は。

町長 専門家の指導を得て適切に処理する。

問 同社の25年度決算書に基づき、購入土地の借地料を算出すると2千万円余りになる。公的支援による効果2

千万円は相殺され、波及効果は期待できないのではないか。

町長 細かい話は事務方に算出させた。

問 今後、京都縦貫道の開通などにより、集客数は減少すると考えるがその対策は。

副町長 集客数は2割程度減少するという推計である。それをカバーする施策が必要であり、公共性を増すことにより多くの町民の来場を促す。

問 同社へはすでに9億1千万円の税金が入入されている。さらなる税金の投入には民意を得ることが必須でないか。

町長 設立時に町が8億5千万円の税金を投入するか、今回6億円余りを投入するかの違いで、町民は損も得もしていない。



松村 篤郎 議員

町道下山駅前線の改良計画は

町長 27年度から測量設計に着手する



溝ぶたの設置で応急対策を(下山地内)

問 町道下山駅前線は通学路の安全対策として、白線や路面表示により注意喚起につながっている。しかし、依然として道路幅が狭く急カーブのため、離合困難であり、危険な状況は根本的改善がなされていない。

町長 早期の改良整備についての計画は。

問 計に着手し、府道京丹波三和線の交差点部分及び狭小部分の道路改良に取り組んでいく。

町長 可能な箇所はすぐに実施指示する。

問 煙川ダム周辺の整備計画は

町長 京丹波三和線の整備計画説明会は

問 京丹波三和線の山下沿線地域への説明会が実施されると聞いていますが、その内容及び開催時期については。

町長 27年度に測量、実施設計ができるよう地域の意見集約を図りながら、事業計画を取りまとめていきたい。

問 「不伐の森」として行林の整備計画は。

町長 生育を確認し、必要に応じて間伐などの長伐期施策を実施する。

問 煙川ダム周辺地域整備事業が進展していない状況にあって、26

町長 煙川ダム周辺地域整備事業が進展していない状況にあって、26

問 煙川ダム周辺地域整備事業が進展していない状況にあって、26



瑞穂小学校児童の 安全対策を



鈴木 利明 議員

町長 ゾーン30エリアの設置、空き家住宅は除却する



バス通学の拠点(JRバス松山駅)

問 次代を背負う子どもたちは宝であり、この認識のもとに、家庭・学校・地域が一体となって育むことが極めて重要である。

交通安全対策として、JRバス松山駅から小学校に至る、児童の登校実態を調査したところ、朝の約30分間に、大朴橋爪線を約50台の車が相当のスピードで通過していた。通学路として危険を感じた。安全な通学を守るた

め、交通量・速度抑制対策として「ゾーン30」を早期に着工されたい。

町長 来年4月よりゾーン30エリアを設置すべく工事を進める。

問 小学校の近くに町営住宅の荒れた空き家が1棟建っている。児童への危険性があり、早期に取り壊しを要請する。

町長 空き家は速やかに除却を進める。

丹波地域開発㈱の 今後の対応策

問 丹波地域開発㈱の支援策については、9月議会で決定したが、これで終わりではなく、これからがスタートである。

町長は従来から説明責任は果たすと表明されてきたが、その考えは現在も変わらないか。

町長 いかようにも対応するという気持ちは変わらない。

問 副町長を社長とする役員が決定した。町長の所見は。

町長 第3セクターらしい役員体制ができた。しっかりとやってもらいたい思いでいる。

問 実務の中心となる人材が必要である。経営の基本計画を着実に実行していく体制が重要であると考えるが。

町長 実務の執行体制は必要である。面白い物弱者へのバ

ス運行など住民サービスの拡大、消費者なども加わった広範な運営協議体制の構築などの検討を求めるが。

町長 不自由な方への対策は大切である。多くの方から広く意見を聞き、運営や経営に生かす計画を進めていきたい。

まちづくりについて 管外視察に学ぶ

問 鳥取県日南町を行政視察した。同町は、「創造的過疎」を標榜し、合併もせず、病院・施設・町の三者が一体となった町民の生涯を守るまちづくりを行っている。町長が追求される「まちづくりのあるべき姿」とは何か。

町長 心の豊かさを感じて人生を送れるまちづくりを進めることがあるべき姿だ。他町の良いところは取り入れていくことが大事である。



森田 幸子 議員

産後ケア対策としての 本町の考えは

町長 専門的知識を習得し支援体制の構築を図る



すくすく育てる

問 虐待で死亡した子どもの4割以上が0歳児、そのうち半数は生後1カ月の間に亡くなっている。虐待を防ぐため、今後さらに妊娠から出産、育児期までの切れ目ない支援づくりや、関係機関の連携強化などが課題である。出産直後の母子の心身の健康をサポートする産後ケアの強化が重要であるが本町の考えは。

町長 保健師が産前産後ケア専門員の研修に参加している。専門的知識を習得し、支援体制の構築を図る。
問 本町における虐待通報件数は。
町長 25年度では学校2件、医療機関1件、保育所1件、関係機関7件で合計11件である。
問 学校や医療機関などの防止対策は。
町長 早期発見、早期対応を図るために、子どもを守る地域ネットワーク協議会を設置している。町立病院では、

小児科をはじめ診察をするなかで発見された場合は、速やかに関係機関に通告するが、さらに連携を強化して防止対策に取り組む。
教育長 教職員は子どもたちの変化に気づきやすい立場にあることから、早期発見努力義務、早期通告義務が課せられている。教育委員会は関係課及び機関との連携を日常的に強化し、体制の整備に努めている。また、学級担任や養護教諭、スクールカウンセラーなどが協力し、児童・生徒がいつでも相談できる雰囲気醸成することに努めている。

重要と考える。乳がん検診については、今後個別検診の体制づくりが検討されている。
問 胃がん検診のピロリ菌検査の検討は。
町長 胃疾患など、胃がん予防についての効果を考え、ピロリ菌検査の実施に向け、健診・医療機関との調整を含め、検査方法などを検討している。
問 いつごろの実施となるのか。
課長 早期の実施に向け検討する。

受診率向上の対策を

問 乳がん、子宮頸がんの無料クーポン配布者の受診率20%台と大変低い。向上対策は。

町長 クーポン検診と合わせての啓発と受診しやすい体制づくりが

シルバー人材センターの事業成果は

問 社団法人として8年が経過し、就業支援にとどまらず、庭木の剪定講習などの職業能力の向上などに尽力されている。事業成果は。
町長 健康づくりや将来的な介護予防にもつながり、町全体に活力をいただいている。



丹波マークスに 役場機能移転と保育所併設を



篠塚 信太郎 議員

町長 私は異存ないが新しい経営陣が決断していくこと



経営支援を行う丹波マークス

問 丹波マークスの今後のあり方として、町営施設化し、役場本庁機能移転と保育所も併設した複合施設として提案する。

町長 私は全く異存ないが、新しい経営陣が決断していくことである。

問 丹波マークスへの経営支援の予算は可決されたが、町民の理解が十分得られたとは考えにくいので、一定議

論が進むまで、町より無利子で貸し付けてはどうか。

町長 貸付方法ではなく、土地の買い戻し及び補助金による支援が必要であると判断している。

問 土地は取得の提案がされているが、経営安定化補助金3億2529万円は、株式に転換できないか。

町長 提案するまでに検討したが、セットで

提案し議決いただいているので理解願いたい。

地域おこし協力隊の受け入れを

問 都市住民で地方への移住を希望する人は、31・6%と高く、都市部の若者などが過疎地に定住する、国の地域おこし協力隊受け入れ事業に取り組みべきでは。

町長 地域おこし協力隊は、全国で年々増加し、地域の活性化や定住などに成果を上げている。地域支援の観点から今年度中に先進地視察を行い検討したい。

京都縦貫道と道の駅「京丹波 味夢の里」整備工事の進捗は

問 京都縦貫自動車道の整備工事は、トンネルの湧水などで工事が難航していると聞くと、進捗状況は。

町長 瑞穂トンネルの進捗は、破碎帯の影響で難航していると聞いて

ているが、完成時期は一定の目途が付けば、国交省から報告があると伺っている。

問 道の駅「京丹波 味夢の里」建設地の地盤が沈下していると聞くと、工事に支障はきたしていないのか。

町長 20mを超える高い盛土であり、一部で沈下が確認されたため、局所的に沈下対策工を施工した。

問 工事費の増額はなののか。

参事 地盤沈下の修正工法の経費は、変更契約を提出予定である。

プレミアム商品券発行経費の全額補助を

問 町商工会で来年度プレミアム商品券1100万円の発行が計画されているが、発行経費全額を27年度予算に計上を。

町長 27年度においても、これまで同様の支援を実施していく。



坂本 美智代 議員

丹波地域開発(株)の 支援に対する町民の理解は

町長 大方の理解はいただいている

問 9月議会で提案され、可決された丹波地域開発(株)への支援に対し、町民の方々からさまざまな意見をお聞きしている。20日間という短期間の議会のなかだけでの説明で納得できるものではない。町民の方々に納得と理解を得られたと考えているのか。

町長 大方の人に理解していただいていると考えている。

問 大切な税金投入である。住民への説明責任があると考えるがどうか。

町長 一生懸命説明はしている。いつでも出向いていく。

根強い原発反対の声が

問 福島原発事故から3年9カ月経過した現在でも、10万人以上の方が避難生活を送っている。関西電力の高浜原発3・4号機の再稼働をめざし、原子力規制委員会の審査を受けている。さらに、運転開始から40年経過している高浜原発1・2号機を最大20年延長して運転できないか検討をしている。今なお根強い原発反対の声があるなか、国民の願いに対して真逆な方向へ進めようとしている原発政策に対し、30キロ圏内に位置する自治体の町長としての見解を伺う。

町長 住民の安全の確保が最優先であるが、国の経済の根幹をなすエネルギー需給について重要な問題点である。

問 和知地域で防災訓練が実施されたが、避難するにあたり、問題点はなかったのか。

課長 今回が初めての広域の避難であったこともあり、移動手段となる車両や渋滞などの問題が考えられる。

食品ロスの削減を

問 家庭から出る食品

ロス(食べられるのに食べずに捨てられる食品)が全体の約半分を占めている。市民グループなどの協力で家庭にある期限切れ、期限間近の食品を点検する「食品見直しデー」の取り組みがされている。グループなどの支援として、広報などで取り組む考えはないか。

町長 町内の関係団体への働きかけや、環境面や消費生活面におけ

る啓発などに努力したい。

問 救急病院の認定を受け救急対応しているが、専門外の先生の場合、親身な対応が必要と考えるがどうか。

課長 若い非常勤医師の場合、経験不足もあり診察は難しいが、対応に努めたい。

京丹波町病院の 救急対応と対策は



冷蔵庫内に期限切れの食品はありませんか



丹波地域開発(株)への税金投入は、 町民に過大な負担では



東 まさ子 議員

町長 返済資金の調達に苦慮しており、町として財政支援を行った

問 9月議会で、丹波マーケスへの財政支援6億700万円の税金投入が可決された。町が出資しているといえども1民間企業へ安易に税金を投入することは許されない。

町長が、丹波地域開発(株)の元社長であったことから、町長の地位と権限を利用し、自らの責任を逃れるものではないかなどの声が寄せられた。今回の税金投入は、経営者の責任は何も問わず、町民に過大な負担を負わせることにならないか。

町長 平成9年、土地開発公社から買い戻した土地を町が所有しておれば問題は起きていない。会社は購入したことで借金返済が苦しく、最近では運転資金を借りている。町長として、この際、財政支援を決めた。

問 「出資を受けている事業団から『借りも

の』でやれと指導を受けたが、土地建物は会社が持つべきと、購入を強く申し入れた」との答弁があるが、矛盾しているのではないかと

め処分の報告書を提出した。10月14日付けで処分がされ、向こう1年間、退職金の執行が停止される。

町長 社会保障財源として必要と考える。

問 会社が赤字でも税金がかかる外形標準課税を、中小企業に拡大することへの見解は。

町長 賛成はできない。

問 第3セクター丹波地域開発(株)の取締役に、副町長と参事が就任した。これまで50%以上出資をしている場合は就任できたが、以下でも可能か。

課長 今回の人事は、会社の中で経営に携わるということではない。あくまで経営を支援する立場での就任であり、問題は無い。

問 来年予定の消費税10%増税は延期するが、29年4月には景気に関係なく増税するという安倍首相の判断は、大

増税には反対を

一般会計から繰入れを

問 町職員の公金横領事件について、議会は退職金の請求取り下げを求める決議を可決した。町の対応を伺う。

町長 退職手当組合に、退職金の支払い差し止

問 国保税の負担は厳しい。地方自治体の本旨を活かし繰入れを。

町長 慎重に検討する。

「決議」への対応は

問 町職員の公金横領事件について、議会は退職金の請求取り下げを求め、町長の対応を伺う。

町長 退職手当組合に、退職金の支払い差し止

問 国保税の負担は厳しい。地方自治体の本旨を活かし繰入れを。

町長 慎重に検討する。



地域経済の活性化に、増税中止を(須知地内)



山田 均 議員

丹波地域開発(株)は 国の「指針」に沿って

町長 指針に沿って経営はあるべきと認識している

問 国は、第3セクターの運営が全国各地で破たんしたことから、全国の都道府県・市町村に「指針」を出している。①経営責任の明確化、効率化、町から独立した事業主体として自らの責任で事業を遂行すること。②従業員の選任は、民間の経営ノウハウを含めた適切な知見を有する人材の登用。③組織体制、責任、会計及び資金の管理、運用など経営上の重要事項について、町が指導・監督方針や基準を策定し、明確にしておくこと。④継続的に自立した経営を行う見込みがある場合は、完全な民営化、町の出資の解消を視野に入れた経営を検討することなどを求めている。

丹波地域開発(株)についても、この「指針」に沿って見直しをすべきであると考えているが、

町長 指針に沿って経

営はあるべきと認識しているが、これだけ過疎が進んで、商店街は皆閉鎖、シャッター街になっている。商店街の整備資金を借りての事業であり、民間が得意でないから町の助力を得て、町の土地を使って今日に至ったという認識でいる。

地域振興拠点施設の役割は

問 道の駅「京丹波

味夢の里」は、地域振興の拠点施設と位置づけているが、町内のどの地域に誘導するのかまた、受け入れ態勢など考えているのか。

課長 町内の観光施設、道の駅との連携も含め、町内へ降りてもらおうきつかけづくりとして、施設整備をしたい。

問 施設の地盤が沈下したことで、想定内との説明があったが、重大なことである。議会への報告もないがどう



工事中の道の駅「京丹波 味夢の里」

いう認識か。

課長 不等沈下は20mを超える高盛土であり、自然沈下は想定していた。10月に不等沈下修復工事を行った。費用が発生するので、その部分は追加上程したい。

町の基幹産業への支援を

問 今年の農作物は米価の大幅な下落、夏の長雨、収穫直前の霜被害など、農家の収入も大きく減収になってい

る。戸別所得補償制度の半額と米価の下落は、生産意欲を大きく減退させている。農業は基幹産業であり、低米価対策や種子支援など、支援を考えるべきでは、
町長 町独自の対策は、今後の米価の動向で検討するとともに、収益性の高い黒大豆、小豆、京野菜などの推進を図り、霜などの被害には農業共済の加入を願いたい。



管外視察報告

9月30日・10月1日の2日間、鳥取県伯耆町および日南町を視察研修しました。

視察は、本町が直面する行政課題を検討し、議会活性化や議員の自己研鑽・資質向上につなげることを主な課題として計画されました。

この計画主旨達成のために、参加全議員が十分な事前調査を行い、2町に質問事項を提出した上で臨みました。この2日間は、目で見て、肌で感じるこ



大山高原スマートインターチェンジ

が、開通までが、開通までに勉強会、検討会、協議会など4年近い積み重ねがあることをうかがい、一朝一夕ではないことを実感した。1日200台の利用を基

の大事さを実感するこ

とになり、下調べが活かされた非常に有意義な研修になりました。

特に、日南町の研修は体系的にプログラムされ、数十年後の本町を想像させる非常に充実したものになりました。

鳥取県伯耆町

●スマートインターチェンジの可能性

23年6月に米子自動車道に開通した大山高原スマートICである

が、開通まで

に勉強会、検討会、協議会

など4年近い積み重ねがあ

ることをうかがい、一朝一

夕ではないことを実感した。

1日200台の利用を基

本（NEXCOによる

目標は450台）としているが、開通後の実績は、23年度以降、一度も年間平均200台

は達成できていない。また、1年を通じて、

450台を上回ることも数日という報告であ

った。

鳥取県日南町

●日南町の概要

鳥取県の最西部に位置し、330km²の広大な面積のほとんどが山

と森に覆われた町であった。ほぼ100%

が種々の町内産材で建築された印象的な庁舎

であった。

視察受け入れに力を入

れられていただけあって、おもてなしが

行き届いており、視察内容の洗練化に向け、

日々着実に進化途上のように感じた。

●空き校舎の活用状況

まなび宿として、サ

テライトオフィス、ソーラー発電所など、画期的な利用や取り組みがされていた。

●議会改革の推進

議員による条例制定

などを通じて政策実現

されているものも少な

からずあり、議会としての力強さを感じた。

また、自分たちの議員報酬増額の意見交換会

を実施されるなど、自負も感じた。

●行政視察受け入れの効果

25年4月に、役場

ホームページにバナー

経由の専門ページがつけられるとともに、全

国の自治体の首長や議会にパンフレットが送

付されたと聞いた。

その結果、視察団体の数や人数も、25年度実績の28団体276人か

ら、本年度9月末現在で19団体236人（予

約状況は36団体450人超）と確実な伸びを

見せている。説明対応を通じて、職員自身も

理解が深まり、スキルアップにつながっているなどの相乗効果が生ま

れているとのことであ

あった。

●自治体病院の健全経営

自治体病院の評価として、町民の利用率や

職員の評価が高くなく

ては、黒字化はありえないという指摘が印象的であった。

●特別養護老人ホーム「あかねの郷」

大規模な敷地、ゆったり悠然とした平屋建

ての全室個室ユニット型の老人ホームであ

った。職員数は191人、保育所も併設され、町

内最大の従業者数をもつ事業所とのことであ

った。

全国同様、マンパワー不足が課題とのこ

とであったが、10代の高卒新卒採用者から70

歳間近の嘱託職員まで、幅広い年齢層（40代が

やや手薄）の職員がいると聞いた。



町内産木材 ほぼ100%の日南町庁舎

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから どないなっとるんや〜？

問 16年2月に発生した鳥インフルエンザ農場の解体撤去工事の予定は。

町長 着工時期は予算編成前であり未定である。



問 若者定住のためにも職場の確保が重要である。町有地を活用し企業誘致を。

町長 商工観光課の創設で企業誘致強化を図り、地元雇用対策を推進する。



こうなった！

過疎地域自立促進特別基金から、第1次計画が26年度当初予算に計上され、11月から解体撤去工事に着手し、現在着々と進行中です。跡地利用の具体化を図るとともに、27年度には完全に撤去される予定です。



まだこうなんや〜！

蒲生野地内の塩漬け土地（土地開発公社から25年5月に4億3093万円で買い戻した土地）に、約4200万円の資金を投入し造成工事を行ったが、まだ具体的な企業誘致には至っていない。



車いす駅伝大会に 19回出場



今回は障害を乗り越え、体力づくりに挑戦しながら全京都車いす駅伝競走大会に19回も出場されている実勢区の北村歩さんにお話を伺いました。



車いす駅伝競走大会のスタートを待つ北村歩さん(前列右)

—全京都車いす駅伝競走大会の出場動機、出場回数とチーム編成について聞かせてください

作業所に通いかけた頃、福祉会の役員さんから声をかけていただき、19回出場しました。最初は、年上の人が多かったが、今は作業所の仲間や行政の方にお世話になってがんばっています。

—日頃のトレーニングはどのようにされていますか

作業所から帰宅後、競技用の車いすに乗り換えて、3km約1時間、休みの日は午前と午後2回出かけています。

—車いす駅伝競走の魅力とこれらの抱負について教えてください

最後まで走り切った時の達成感がすごくあります。健康管理に気をつけて、できるだけ長く走り続けたいです。

—京都府障害者のつどいと京丹波町身体障害者福祉大会で体験発表を

れた要旨について聞かせてください

私が生まれた時は仮死状態で、2、3日の命だと言われたそうです。生後4日目に大手術を受け生き延びましたが、入院中に水頭症になり手術を受けました。そして、その後も両足の麻痺、股関節脱臼、体幹機能障害など多くの病気や障害を持つなかで、とても辛い手術や機能回復訓練を繰り返し、家族や多くの人に助けられて、丹波養護学校高等部を卒業しました。

卒業後は1年間、愛知の訓練校で印刷やパソコン操作の勉強をし、そして、丹波町共同作業所にお世話になることになりました。作業所までの3kmの道を、若かった頃は、車いすで通いました。作業所では、10年ほど前からさをり織りでオリジナル反物を作りがんでいます。

私の好きな言葉は「努力」です。毎日の生活の中で努力するという言葉を頭において、これからもがんばっていきます。

私も41歳になり、父や母の老後が心配です。できることなら地域の中で自立した生活ができればと夢見ています。

(記者 篠塚)

議会の傍聴に
おこしくください!

今回の議会日程は次のとおりです。

3月定例会
3月30日(火)
午前9時から

編集後記

今回の住民登場は、車いす駅伝競走でがんばっておられる北村歩さんに登場いただきました。

議会情報の一方的な報告になりがちな「議会だより」ですが、最終ページではいつも住民の方に登場いただき、暮らしの声、本町の魅力や抱負、まちづくりへの提言など語っていただき、魅力ある紙面づくりに大きな力を発揮していただいています。登場いただいたみなさんに感謝しています。

さて、今年は戦後70年、京丹波町が発足して10年となる節目の年です。住民の福祉向上を第一に、みなさんの声が町政に活かされるようがんばる所存です。

本年もよろしくお願いたします。

(東)